



成果指標				
成果指標	執行済額(直接事業費)÷予算現額(直接事業費)=執行率			
指標設定の考え方	人件費等の総務管理費であることを考慮して、指標設定に関しては予算の執行率とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	1	1	1	0
実績	0.983	0.931	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度は、地域介護・福祉空間整備等事業(国庫補助)として、民間の高齢者福祉施設へのスプリンクラー設置、介護基盤整備事業(県補助金)として、特別養護老人ホームのプライバシー保護改修工事を行い、利用者の安心・安全が図られた。なお、一般管理事務においては、今後も継続して適正な執行管理に努めたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	平成27年度は、自己評価者の認識のとおり、国庫補助、県補助を利用し、高齢者の安全・安心が図ることができた。補助金等の情報収集に努め、今後も引き続き高齢者の安全・安心を図っていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題